



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS2317		
科目名	コーチング学研究法演習		
担当教員	原 怜来		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	木 3		
講義室	1407	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基礎		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 4－F〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 4－I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 D P 5－J〔創造的挑戦力・達成力〕 コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 ■ C Rコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F 1 探求と論拠（25%） F 2 問題解決（25%） I 1 理解・分析と読解（15%） I 2 量的分析（15%） I 3 情報分析（15%） J 2 創造的思考（5%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発目標ステージとの対応 2 進行期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	本演習は、コーチング学の学習及びコーチング実践の入門と位置づけられ、各自の専門種目を中心に、競技特性に応じたコーチング理論を学び、コーチとして指導現場で活動するための基本的な考え方や、パフォーマンスを獲得するためのコーチング技術及び能力を習得するための研究法を理解することを目的とします。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：コーチング学、コーチング技術、反省的实践		
授業の趣旨	■副題 コーチング学およびコーチング実践に関連する様々な領域・分野の研究法を学ぶ。 ■授業の目的 よりよいパフォーマンスを獲得するため、または獲得させるコーチング技術及び能力を習得するための研究方法について学習し、自身が指導者の立場となった時に必要な能力の要素がどのような科学的背景を持つのかについて説明することができることを目的とします。 ■授業のポイント 自身が選択するゼミナール・競技スポーツ専門演習を決定するために必要な知識や経験を様々		

	な領野の研究から学びます。												
総合到達目標	■自身が指導者の立場となった時に必要な科学的知見やコーチング能力の要素がどのような研究方法を基に検討されるのかについて実践を通して理解する。 ・自身の専門とする競技におけるコーチング理論やそれに付随する科学的知見を得るための研究方法について過去の文献を整理し説明することができる。（第1回、第10回～第14回） ・様々な領域における研究に関する分析方法や結果に対する解釈について説明することができる。（第2回～第9回） ・実際のコーチング現場において学習した内容をどのように反映できるか、また今後の研究活動にどのように活かせるかについて説明することができる。（第13回～第15回）												
成績評価方法	■授業参加度（20％）：適用ルーブリック：F 1・F 2 （評価の観点）授業内容についてリアクションペーパーや小レポートの記載を行い記載内容の評価を行います。 （フィードバックの方法）提出後に授業内で振り返りを行います。 ■研究実践報告書（60％）：適用ルーブリック：I 1・I 2・I 3 （評価の観点）研究実践回（第2回～第9回）の内容について報告書の作成を行い、その内容の評価を行います。 （フィードバックの方法）すべての実践回終了後、研究実践内容の解説および振り返りを行います。 ■期末課題レポート（20％）：適用ルーブリック：F 1・F 2・I 1・I 2・I 3・J 2 （評価の観点）第15回授業までに自身で作成した研究テーマ、課題についてレポートを作成し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）15回授業時に講評を行います。												
履修条件	特にありません。												
履修上の注意点	特にありません。												
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う（F 1・2）。 ③予習（120分）シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。自身が考える研究とはどのようなものであるか整理しておく。 ④復習（120分）ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の専門とする競技や興味のある競技についてのコーチングの実際を確認しておく。研究とは何かについて学んだ内容を整理しておく。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 研究法の実践①－1 ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について設定されたテーマに基づき、その方法論を実践し、その手順等を説明することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（120分）自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習（120分）実践された内容、手順を含め次週の分析のため実践内容を確認しておく。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 研究法の実践①－2 ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について実践後に提示された結果の分析を行い、その分析された結果について整理することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（120分）実践された内容を整理し、結果の算出に必要な準備を行っておく。 ④復習（120分）行われた結果の分析に基づき報告書に記載した情報を整理する。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ 研究法の実践②－1 ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について設定されたテーマに基づき、その方法論を実践し、その手順等を説明することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（120分）自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習（120分）実践された内容、手順を含め次週の分析のため実践内容を確認しておく。 </td></tr> <tr> <td>5</td><td> ①授業テーマ 研究法の実践②－2 ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について実践後に提示された結果の分析を行い、その分析された結果について整理することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（120分）実践された内容を整理し、結果の算出に必要な準備を行っておく。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う（F 1・2）。 ③予習（120分）シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。自身が考える研究とはどのようなものであるか整理しておく。 ④復習（120分）ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の専門とする競技や興味のある競技についてのコーチングの実際を確認しておく。研究とは何かについて学んだ内容を整理しておく。	2	①授業テーマ 研究法の実践①－1 ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について設定されたテーマに基づき、その方法論を実践し、その手順等を説明することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（120分）自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習（120分）実践された内容、手順を含め次週の分析のため実践内容を確認しておく。	3	①授業テーマ 研究法の実践①－2 ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について実践後に提示された結果の分析を行い、その分析された結果について整理することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（120分）実践された内容を整理し、結果の算出に必要な準備を行っておく。 ④復習（120分）行われた結果の分析に基づき報告書に記載した情報を整理する。	4	①授業テーマ 研究法の実践②－1 ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について設定されたテーマに基づき、その方法論を実践し、その手順等を説明することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（120分）自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習（120分）実践された内容、手順を含め次週の分析のため実践内容を確認しておく。	5	①授業テーマ 研究法の実践②－2 ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について実践後に提示された結果の分析を行い、その分析された結果について整理することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（120分）実践された内容を整理し、結果の算出に必要な準備を行っておく。
回	内容												
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う（F 1・2）。 ③予習（120分）シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。自身が考える研究とはどのようなものであるか整理しておく。 ④復習（120分）ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の専門とする競技や興味のある競技についてのコーチングの実際を確認しておく。研究とは何かについて学んだ内容を整理しておく。												
2	①授業テーマ 研究法の実践①－1 ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について設定されたテーマに基づき、その方法論を実践し、その手順等を説明することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（120分）自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習（120分）実践された内容、手順を含め次週の分析のため実践内容を確認しておく。												
3	①授業テーマ 研究法の実践①－2 ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について実践後に提示された結果の分析を行い、その分析された結果について整理することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（120分）実践された内容を整理し、結果の算出に必要な準備を行っておく。 ④復習（120分）行われた結果の分析に基づき報告書に記載した情報を整理する。												
4	①授業テーマ 研究法の実践②－1 ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について設定されたテーマに基づき、その方法論を実践し、その手順等を説明することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（120分）自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習（120分）実践された内容、手順を含め次週の分析のため実践内容を確認しておく。												
5	①授業テーマ 研究法の実践②－2 ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について実践後に提示された結果の分析を行い、その分析された結果について整理することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（120分）実践された内容を整理し、結果の算出に必要な準備を行っておく。												

	く。 ④復習（１２０分） 行われた結果の分析に基づき報告書に記載した情報を整理する。
6	①授業テーマ 研究法の実践③－１ ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について設定されたテーマに基づき、その方法論を実践し、その手順等を説明することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（１２０分）自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習（１２０分）実践された内容、手順を含め次週の分析のため実践内容を確認しておく。
7	①授業テーマ 研究法の実践③－２ ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について実践後に提示された結果の分析を行い、その分析された結果について整理することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（１２０分）実践された内容を整理し、結果の算出に必要な準備を行っておく。 ④復習（１２０分）行われた結果の分析に基づき報告書に記載した情報を整理する。
8	①授業テーマ 研究法の実践④－１ ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について設定されたテーマに基づき、その方法論を実践し、その手順等を説明することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（１２０分）自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習（１２０分）実践された内容、手順を含め次週の分析のため実践内容を確認しておく。
9	①授業テーマ 研究法の実践④－２ ②授業概要 様々なスポーツ・コーチングに関連する研究方法について実践後に提示された結果の分析を行い、その分析された結果について整理することができる（F 1・2、I 1・2・3）。 ③予習（１２０分）実践された内容を整理し、結果の算出に必要な準備を行っておく。 ④復習（１２０分）行われた結果の分析に基づき報告書に記載した情報を整理する。
10	①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 研究とは何か、どのような種類があるのか、研究成果としての論文はどのようなものか、さらに文献の検索方法や読み方について説明することができる（I 1・2・3）。 ③予習（１２０分）研究の分類について確認しておく。 ④復習（１２０分）自身の専門とする競技におけるそれぞれの研究の実際について自身の興味のある領域から具体例を挙げられるよう確認しておく。
11	①授業テーマ 研究法の解説 ②授業概要 実践研究（質的研究・量的研究）の方法についてその内容や他の研究方法との相違について学習し、その内容について説明することができる（I 1・2・3）。 ③予習（１２０分）実践研究・質的研究・量的研究とはどのような研究を指すのかについて確認しておく。 ④復習（１２０分）自身の専門とする競技におけるそれぞれの研究方法の実際について具体例を挙げられるよう確認しておく。
12	①授業テーマ 研究論文とは何か ②授業概要 研究の成果物としての研究論文の構造について、論文の抄読を通して理解することができる（I 1・2・3）。 ③予習（１２０分）自身が興味のある領域分野の研究論文について調査しておく。 ④復習（１２０分）自身が興味のある研究論文の構造を確認しておく。
13	①授業テーマ 研究論文の調査 ②授業概要 自身が今後の研究活動において必要な研究論文についてその調査方法を学び、自身で調査を行い、その内容を確認することができる（I 1・2・3）。 ③予習（１２０分）第10回授業において学んだ内容を整理しておく。 ④復習（１２０分）次回授業に向け自身の研究課題に必要な情報を収集しておく。
14	①授業テーマ 研究テーマ・課題の設定 ②授業概要 今後の研究活動に必要な情報を収集し、自身でテーマ、課題の設定を行うことができる（F 1・2、I 1・2・3、J 2）。 ③予習（１２０分）先行研究から自身の研究活動のテーマ・課題設定に必要な情報を整理し、準備を行っておく。 ④復習（１２０分）今後の研究活動をより具体的に整理しておく。

	15	①授業テーマ コーチング学研究法演習のまとめ ②授業概要 これまで学習してきた研究法、実践授業の内容を整理し、コーチング学研究法演習のまとめを行う（F 1・2、I 1・2・3、J 2）。 ③予習（120分） これまで4回実践した研究法の手順、内容、結果について整理しておく。 ④復習（120分） 実践授業での内容を整理し、次年度以降のゼミナール・競技スポーツ専門演習に向けた自身の研究テーマを具体化する。
関連科目	ゼミナールⅠ・Ⅱ[SSCS4605・4606]・競技スポーツ専門演習Ⅰ・Ⅱ[SSCS4607・4608]	
教科書	コーチング学への招待 大修館書店	
参考書・参考URL	指定はありません。	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 授業時に連絡します。 ■オフィスアワー 各担当者に確認してください。	
研究比率		

